

## 全国初! 薬剤師を目指す学生たちの 「ホワイトコートセレモニー」

2月20日、本学独自の式典「ホワイトコートセレモニー」をランドルフ記念講堂で行いました。これは、2005年度に開設した薬学部の第一期生に、6月から臨む実務実習に先立ち、「白衣」を手渡す式典です。

セレモニーは讃美歌で始まり、聖書朗読、祈祷、校歌斉唱と続き、いよいよ片山薬学部長から学生代表の田中景子さんに真新しい白衣が手渡されました。この白衣の左腕には校章が刺繍されており、金城学院大学薬学部生としての自覚と責任を持ってほしいという願いが込められています。

「私たちは、命の尊さを重んじ、正しい薬の知識・技術を身につけるとともに、女性であることを生かし、きめ細やかな配慮や対応のできる薬剤師となれるよう日々努力を積み重ねていきます。どんな困難にも背を向けない『強さ』と、人をいたわり思いやる『優しさ』を持った薬剤師を目指すことをここに誓います」。代表の戸田繭子さんが「誓いの言葉」を力強く宣言



しセレモニーが幕を閉じると、未来の薬剤師・薬学部第一期生たちは、後輩たちから「シャクヤクの花」を手渡され会場を後にしました。

学生たちが本当に成長し、頼もしく見えた、そんな素晴らしいホワイトコートセレモニーとなりました。



## 青少年読書感想文全国コンクールで 「全国学校図書館協議会長賞」を受賞

中学校3年(現高校1年)の小林円加さんが、第53回青少年読書感想文全国コンクールで「全国学校図書館協議会長賞」(優良賞)を受賞しました。小林さんは池田昌子著『14歳の君へ どう考え、どう生きるか』の感想文で、2月8日東京會館で表彰を受けました。このコンクールには全国から459万編余の作品の応募があり、その中から、小・中・高・勤労青少年各都道府県の審査を経た745編が中央に寄せられ、審査されました。中学時代に文才が開花し、全国レベルで入賞するのは、本校としても快挙です。



## 東区制100周年記念事業 「夢ステージひがし」に参加して

5月10日に、愛知県芸術劇場大ホールで「夢ステージひがし」が開催されました。その中の東区制100周年イベント『中島啓江の音楽会』に、東区内にある名古屋高校、愛知商業高校、名古屋市立工芸高校、明和高校と金城学院グリークラブが特別合唱団として出演しました。

各校ともそれぞれ練習を積み重ね、4月19日と26日の両日、高校の栄光館で合同練習の時間をもち、当日を迎えました。練習指導・当日の指揮は、本校の小原恒久先生でした。参加した生徒にとっても、大変良い経験となりました。また、中島啓江さんや東区スタッフの方々からもお褒めの言葉をたくさんいただきました。



## 「みどり野会より」

「みどり野会」は金城学院の同窓会です。  
1889年に創立された学院の、約79,000人の  
卒業生が集う会です。

「みどり野会」という名前は、大正9年(1920年)に、  
聖書の詩篇第23篇

『主はわが**ほくしゃ**牧者なり われ**とも**乏しきことあらじ  
主は我を**われ**みどりの野に**の**ふさせ  
い**みきは**こひの水濱にと**な**ひたまふ』

から名付けられました。神さまによってこの学院に集められた  
私たちが、卒業後再び母校に集まりいこの時を過ごすとい  
う意味で、「みどり野会」はいつも皆さんとともにあるのです。

## 2008年度 聖句標語

「耳を傾けて聞き、わたしのもとに来るがよい。  
聞き従って、魂に命をえよ。」  
イザヤ書 第55章3節

人間は神の命の息を吹き入れて生きるものとされました。神に近づき、神の言葉を聞き、祈り、賛美をすることにより、神の御心に従った生活をする事ができます。

本誌「with Dignity」は、金城学院のホームページ  
(<http://www.kinjo-gakuin.jp/>)でもご覧いただけます。  
ご意見、ご感想をお寄せください。

(また、現在お送りしております方で、住所変更や購読中止を希望される方も  
ホームページからご連絡ください。)